



公益財団法人 日本健康・栄養食品協会

Japan Health and Nutrition Food Association

メールマガジン定期便 2025 年 8 月 No.1

## 本日の内容 ～研修担当部署にも回覧をお願いします～

- 1 【募集】 9/12 開催アドバンスセミナー「製剤開発の基礎から製剤特性を生かしたサプリメント開発への応用」
- 2 【募集】 第 8 回機能性表示食品広告審査会 広告素材提供のお願い
- 3 【募集】 10/9 追加開催 届出 SR 別紙様式(V)-4 作成解説セミナー
- 4 【お知らせ】 1 製造所を日健栄協 GMP 適合認定工場として認定

◆◆◇◆理事長からのメッセージ◆◆◇◆

### 1 【募集】9/12 アドバンスセミナー「製剤開発の基礎から製剤特性を生かしたサプリメント開発への応用」

2025 年度アドバンスセミナー

#### 「製剤開発の基礎から製剤特性を生かしたサプリメント開発への応用」

生活者が安心してお求め頂ける商品づくりを目指すうえで、製剤技術がどのように貢献できるかについて、固形製剤を中心に医薬品製剤を開発してきた講師の視点でご説明いただきます。

講師：大正製薬株式会社 製剤第 2 研究室 GM 山崎早也佳 様

オンライン配信(Zoom ウェビナー) 及び当協会会議室(会議室は先着 20 名)

◆ 詳細やお申込みはこちら <https://www.jhnfa.org/news-0427.html>

◆ 2025 年 9 月 12 日(金) 14 : 00～15 : 30 (10 分の質疑応答を含む)

◆ 会場：当協会 3 階会議室

◆ 参加費：当協会会員、食品保健指導士 5,500 円 一般 11,000 円 (税込)

◆ お申込み・お支払い期限：2025 年 9 月 5 日 (金)

\* 本セミナーはアドバイザースタッフ単位取得対象セミナーです

食品保健指導士 (1 単位)、NR・サプリメントアドバイザー (3 単位)、健康食品管理士 (5 単位)

■ 問合せ先 研修企画部 [kensyu@jhnfa.org](mailto:kensyu@jhnfa.org)

### 2 【募集】 第 8 回機能性表示食品広告審査会 広告素材提供のお願い

当協会では、機能性表示食品の広告表現の適正化と向上を図るため、2017 年度より機能性食品部所属会員企業で構成された「[機能性表示食品広告部会](#)」を、また、2018 年度より「[機能性表示食品広告審査会](#)」(以下、審査会)を設置し、審査会を年 1 回開催しております。

つきましては、**本年 12 月に予定している第 8 回審査会の審査対象となる広告素材のご提供**をお願い申し上げます。

なお、2024 年 9 月に機能性表示食品の制度改正があり、商品パッケージの表示要件が見直されました。これにより、広告中の記載事項も制度改正の影響を受けますが、現在は 2026 年 8 月 31 日までの経過措置期間中であることを鑑み、今年度ご提供いただく広告素材は、当該制度改正への対応の有無を問わず審査対象とします。

また、審査指針の一つである『機能性表示食品』適正広告自主基準』については、2023年6月5日に公表された第2版を適用します。放映・出稿期間については直近の1年間、2024年7月～2025年6月に範囲を広げます。

**自社広告の表現が適切であるか、外部専門家による客観的な意見が得られる貴重な機会**になりますので、広告作成の一助として頂けましたら幸いです。

◆ **広告募集の締切は2025年8月8日(金)です。**

詳細は以下をご確認ください。

<https://www.jhnfa.org/news-0420.html>

■ 問合せ先 機能性食品部 [kinousei@jhnfa.org](mailto:kinousei@jhnfa.org)

### 3 【募集】10/9 追加開催 届出 SR 別紙様式(V)-4 作成解説セミナー

2025年4月以降の機能性表示食品の新規届出に用いるシステムティックレビュー（SR）は、PRISMA 声明 2020 年版（PRISMA2020）への準拠が必須となります。

当協会では、**SR 作成の流れを説明し、PRISMA2020 チェックリストの項目に沿って別紙様式(V)-4 における具体的な記載例を示して解説するセミナーを5月と7月に開催し好評を得ましたので、最新の消費者庁指摘事項も盛り込み、10月に追加開催します。**

当協会では2023年12月から、SR作成に携わる実務者向けに、PRISMA2020 特別勉強会「実務者編」を定期的で開催してきました。「実務者編」では別紙様式(V)-11～16を中心に、PRISMA2020に準拠したバイアスリスクやエビデンスの確実性等の評価の在り方・考え方を解説し多くのご参加をいただきましたが、本セミナーでは、別紙様式(V)-4の各項でどのような内容の記載が求められているか、具体的な記載例を示して解説し（定性的レビューを中心に一部、メタアナリシスでの記載例も紹介）、参加者からの質問にお答えします。

◆「**届出 SR 別紙様式(V)-4 作成解説セミナー**」

2025年10月9日(木)10:00～17:00 協会3階会議室

詳細・お申込みはこちら <https://www.jhnfa.org/news-0413.html>

プログラム（予定）

AM：PRISMA2020 準拠 SR の 抄録、緒言、方法について解説

PM：PRISMA2020 準拠 SR の 結果、考察、その他の情報について解説

募集人数 各回 20 名程度（先着順）

機能性表示食品の届出に用いる SR の作成に従事される方々、PRISMA2020 準拠版 SR の作成にあたり疑問・不明点があるという方々のご参加をお待ちしています。

■ 問合せ先 機能性食品部 [kinousei@jhnfa.org](mailto:kinousei@jhnfa.org)

### 4 【お知らせ】1 製造所を日健栄協 GMP 適合認定工場として認定

2025年7月30日付けで1社1製造所を日健栄協 GMP 適合認定工場として認定しました。

これにより、日健栄協 GMP 適合認定工場は合計 184 となりました。

◆製造所名

・アニマート製薬株式会社 畠等工場（富山県富山市）

<認定の範囲>製品 GMP

■ 問合せ先 健康食品部 [kenshoku@jhnfa.org](mailto:kenshoku@jhnfa.org)

◆◆◇◆理事長からのメッセージ◆◆◇◆

北海道でも東京より暑い日が続き、群馬県伊勢崎では国内歴代最高気温を更新するなど危険な暑さが続いています。みなさん如何お過ごしでしょうか。熱中症対策が大変重要です。

7月15日（火）当協会主催の経口補水液分科会に出席し、許可取得各社が行う医療者及び消費者向け情報発信について情報共有を行いました。7/3 配信メールマガジンで周知のとおり6月末に「特別用途食品に関する質疑応答集」一部改正があり、経口補水液の取扱い事項が追加されました。この背景には、消費者庁により脱水でない場合の経口補水液の過剰摂取を防ぐ必要性の周知徹底がなされる一方で、消費者の使用控え等が懸念される状況がありました。当協会では、分科会参加8社の皆様にお客様相談窓口等での懸案事項の情報集約にご協力いただいたことで、消費者庁への意見書を迅速に提出できました。経口補水液の許可取得が増加する中、医療者及び消費者等に適切な使用方法が普及されるよう引き続き活動してまいります。

7月3日（木）東京都北区地域医療会議が開催され、学識委員として参加しました。災害時に備え、糖尿病のインスリン注射や経管栄養等の医療的ケアを必要とする人についての情報共有、避難先での医療・介護などの体制や担い手の確保等を話し合いました。

7月10日（木）社会保険福祉協会の清水常務理事と一緒に神奈川県庁を訪問し、11月に予定するフレイル予防推進会議総会の実行委員長である神奈川県福祉子どもみらい局 川名 勝義 局長と打合せしました。

7月25日（金）ヤマハ発動機産業保健研修会の講師として、働く人たちの脳・心・腎を守る安全で快適な職場づくりについてお話をしました。なぜ特定健診・保健指導の制度ができたのか、健診の結果説明・保健指導の重要性など、産業医、看護職、栄養士、事務職の役割についてご説明しました。

7月26日（土）千葉大学社会医学同門会例会が開催され、同大学予防医学センター社会予防医学 近藤 克則教授、同大学病院次世代医療構想センター 吉村 健佑特任教授、順天堂大学公衆衛生学 亀田 義人准教授と、予防の重要性について意見交換しました。また、内閣官房船舶活用医療推進室 寺谷 俊康企画官の特別講演の座長を務めました。

公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 理事長 矢島 鉄也



\* 配信停止・配信先の変更などは総務部 [kaiin@jhnfa.org](mailto:kaiin@jhnfa.org) までご連絡ください。

配信元 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 <https://www.jhnfa.org>

東京都新宿区市谷砂土原町2丁目7番地27